

自治医大女性医師支援 NEWS

平成30年9月地域医療推進課発行



◇女性卒業生同士の意見交換会報告◇

平成30年8月31日（金）、フクラシア東京ステーション（東京）にて「卒後ワークライフバランスについて考える会 2018年度ブロック担当会議」を開催しました。

医学部卒後指導委員会では、義務年限中の女性医師支援の活動の一環として「卒後ワークライフバランスについて考える会」と称し、卒業生の講演会と学生・卒業生との懇談会を行っておりますが、この会は、全国10ブロックにおいて女性医師支援の中心的な役割を担っていただく女性卒業生にお集まりいただき、今後の自治医大の女性医師支援について、有意義な意見をいただく場として位置付けております。今回で6度目の開催となりますが、13期～33期までの女性卒業生8名全員にご参加いただきました。始めにこの1年の自治医大の女性医師支援

の活動について大学から報告を行いました。続いて8名からこの1年の活動を報告していただき、その後全体討論を行いました。



全体討論では、「卒業生の地域における支援体制の模索～広報戦略の具体化について～」をテーマとして、卒業生からあがった支援を求める声の事例を資料とし、ディスカッションを行いました。これからの卒業生の地域における支援体制は、何か必要とされているのか、支援戦略を具体化するため、お集まりいただいた女性卒業生から、活発なご意見を賜りました。

広報活動における問題点のご指摘と、気軽に相談できる環境づくりのため、メッセージアプリを用いて情報提供をすること等の意見が出されました。

終始、活発な意見交換がなされ非常に有意義な会となりました。

今回のご意見をもとに、より良い女性医師支援の取り組みに向けて検討していきます。



【今回ご参加いただいた女性卒業生】

- ・十枝めぐみ 先生(香川13期) ・白石裕子 先生(島根17期) ・横谷倫世 先生(奈良21期)
- ・定金敦子 先生(福岡22期) ・渡邊ありさ 先生(埼玉県24期) ・影向一美 先生(新潟24期)
- ・新井由季 先生(栃木25期) ・山本智美 先生(北海道33期)